

西原禮之助さんを想う

著者	井波 一雄
著者別表示	Inami Kazuo
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	42
号	2
ページ	153-153
発行年	1995-02-25
URL	http://hdl.handle.net/2297/00055634

的集団内で形成された F_1 雑種の異型配偶子と母植物との戻し交雑の結果形成された部分的なヘテロのゲノム構成を持つ4倍体、あるいは2倍体個体である可能性もある。いずれにせよ、大半の雑種性3倍体は不稔で種子形成は正常には行われないので、母

種個体間で繰り返し交雑が行われることによって集団内に引き続き生み出されているものと推定される。

(received August 5, 1994; accepted December 10, 1994)

○井波一雄：西原禮之助さんを想う Kazuo Inami: Obituary of the late Mr. Reinosuke Nishihara

敢えてこの先人を西原さんと呼ぶほどに親しく懐かしい植物の友でありました。

氏が岡山きっての銘酒「お多美鶴」の社長さんであることを存じ上げるずっと以前から氏のご令名は存じ上げ各種学会が各地で全国集會をもたれた折々には、よくご同席の榮をいただいて自社の製品詰めの小瓶などを全員に用意されたご温情を飲めないながらもいつも有難く、ヤアヤアと親しげにご挨拶を交したことが思い出されます。

昭和5年から植物に関心を持ち採集に力をいれつづけて県下各地はもとよりひろく全国各地を採集して歩かれたご様子は氏のご著作「岡山の植物」(昭和39年刊。岡山文庫1)によくまとめられて巻頭自序にも「素人の私共(生態写真を倉敷レーヨンの岡山工場の古谷野 寛氏が提供された)がこのように本としてまとめることができたのも、故牧野富太郎博士、故小泉源一博士、前川文夫博士、北村四郎博士等の諸先生のご指導とご激励の賜物と深く感謝致します云々」と述べられた通りであります。

同書にオオバイカイカリソウを掲げられた解説に「本種は阿哲、川上および備後の北部、主として石灰岩露出地帯を中心として極めて狭い範囲に限られている」と地元岡山県での観察を明記され、さらにオオバイカイカリソウとトキワイカリソウとの天然交雑にも触れ、前川文夫博士のスズフレイカリソウ、小泉源一博士のウメザキイカリソウなど諸説に千変万化の微妙な差を観察されて「どれがトキワイカリソウでどれがオオバイカイカリソウであるのかわからなくなってしまう」と頭を抱えられる著者の姿が浮かんできます。ちなみに現在ではこのオオバイカイカリソウはスズフレイカリソウともいわれ、バイカイカリソウとトキワイカリソウの交雑種群とされて、さまざまな中間形態のものも含まれると解説されています。昭和4年に出版の吉野善介の名著「備中植物誌」にはバイクワイカリとイカリサウだけでオオバイクワは名も出ないのは当然でオオバイクワが認識発表されたのは1932年(昭和7年)のことであつた。ホソバナコバイモの記事に著者はこの初採集は阿哲郡草間村で赤木敏太郎氏が発見し、大正3年小泉源一博士が「新撰植物図編第二編第一集」に発表のものと解説されるので、前記備中植物誌にみると赤木氏は阿哲郡草間村姫原の人で郡内小学校教員であつたことが判り、ほかにチョウジガマズミ、ヤマトレンギョウを発見しておられることが知られます。今珍稀危惧種とされるほどに減少したオグラセンノウも美しい写真で紹介され、岡山県では小坂弘氏が大正9年8月阿哲郡哲西町で採集されたものなどと、この種の発見史にも触れられ、さらに新見市の唐松小学校の記章はこの小坂氏の考案になるヒメコマツが図案化されたものと別頁に記されています。チョウジガマズミについて、村越氏は「集成新植物図鑑」のこの種についての記載が「大木にして云々。葉が対生する様殆ど丁字形をなせるの観あり故に本和名あり」とは全くの誤認であると広く万卷に当たられた姿勢を偲ぶことができます。

さらに昭和56年には岡山文庫100として「岡山の樹木」を著されています。今はひろく庭木に導入されて普及しているオオカナメモチが同県東部に大久保一氏によって発見されたことなども記され、17年前の「岡山の植物」に縁を得て多くの知己を得たことを喜ばれ、殊に岡山の植樹祭には天皇陛下の御散策の御相手を務めた光榮を生涯忘れることはできないと自序されています。

学者の論文は容易に民間同好素人の目には触れないことが多く無縁であることが多いが西原さんのような自ら素人をうたて、たのしく親しみやすい一般啓蒙書を残されたことは遠近にかかわらず著者の知の領布にあずかる学徳の余沢がいついまでも消えることがないことを痛感して、親しかった同好の友西原さんと今一度一献を傾けることの出来ない人の世のさみしさを痛恨して岡山の人西原礼之助さんを偲びます。

(〒464 名古屋市千種区豊年町15-20 15-20 Hounen-cho, Chikusa-ku, Nagoya 464, Japan)

○石川県地域植物研究会(編) 石川県樹木分布図集 B5判, VII+489頁+添付フィルム10葉, 1994年3月31日, 石川県林業試験場, 6,000円(送料800円)。